

# 日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所  
162-0805 東京都新宿区矢来町 65  
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175  
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

## 「いのち尊厳限りないもの ⑤」

～ チーム・イエスの一員として ～

管区事務所総主事 司祭 エッサイ 矢萩新一

2024年は1月の能登半島地震に始まり、パレスチナ・イスラエルやウクライナ・ロシアなどでの戦争、豪雨や世界各地での災害、カンタベリー大主教の辞任…と、心を痛める出来事がたくさんありました。被害にあわれた方々や今も困難の内にある方々を神さまが抱き、守ってくださいますように。

ある方の文章の中である本からの引用として「教会は『チーム・イエス』、私たちはひとつのチームで、ひとつのムーブメント、イエス・キリストに従う巡礼者の群れ、ともに礼拝をささげるとき、私たちの一人ひとりとは決定的にかけがえのない役割を担っています。たとえひとりで祈るときでも、本当に独りになることは決してありません。私たちはいつでも、チームの一員です。」と書かれていました(勝手な孫引きですみません)。

2023年の宣教協議会からの呼びかけの一つ目の呼びかけには、「神のみ声に耳を傾けよう<祈り・み言葉・礼拝>」とあり、その小項目として「イエスの弟子となる…わたしに与えられた賜物はなに?」、「進むべき道を問い続ける…聖書を読み、神のみ心を祈り求めよう」、「変化を恐れない…宣教協働区、新しい祈り書、生き生きとした「今」の礼拝!」とあります。

私たちが困難な課題や状況にあうとき、チーム・イエスの一員として、イエスさまの弟子として、聖書のみ言葉に聴き、祈り、常に新しくされながら、かけがえのない役割を果たそうとして歩むことが求められているのだと思うのです。

降臨節を大切に過ごし、クリスマスを迎えようとしている私たちは、暗闇を照らす光として貧しい家畜小屋にお生まれになったイエスさまの誕生を祝い、その生き様を模範として人生を歩みたいと願う者の集まりです。今年1年のお恵みと試練をも感謝しつつ、新しい1年のお一人おひとりの歩みの上に聖霊の導きがあり、いのちの輝きが守られますようにお祈りいたします。

クリスマスおめでとうございます。

「この命は人の光であった。光は闇の中で輝いている。」

(ヨハネ1:3-4d ~ 5a)

## 口会議・プログラム等予定

(2024年12月20日以降・前回未掲載分)

### 12月

27日(金) 管区事務所仕事納め

### 1月

- 7日(火) 管区事務所仕事始め
- 9日(木) ~10日(金) 各教区正義と平和担当者会[ナザレの家]
- 10日(金) 正義と平和委員会[ナザレの家]
- 13日(月) 各教区青年担当者の集い[Web]
- 16日(木) 法憲法規委員会[管区事務所]
- 20日(月) ウィリアムズ主教記念基金委員会[立教]
- 21日(火) 人権問題担当者会議[Web]
- 22日(水) 各教区財政担当者連絡協議会[Web]
- 23日(木) ナザレ委員会[東京教区事務所]
- 23日(木) 神学教理委員会[管区事務所]
- 24日(金) セーフチャーチ・タスクチーム会議[管区事務所]
- 28日(火) 臨時主教会[東京教区事務所]
- 29日(水) 文書保管委員会[管区事務所]

### 2月

- 1日(土) ハラスメント防止・対策担当者会[聖アンデレ教会]
- 3日(月) 金融資金運用管理チーム会議[管区事務所]
- 4日(火) 日韓協働合同会議[聖アンデレ教会]
- 5日(水) ~7日(金) 定期主教会(熊本)
- 10日(月) 年金委員会[管区事務所+Web]
- 10日(月) 主事会議[管区事務所]
- 15日(土) 原発のない世界を求めるZoomカフェ[Web]
- 18日(火) 常議員会[管区事務所]
- 22日(土) ~24(月) U26 全国集会(大阪)
- 25日(火) ~27日(木) 管区共通聖職試験[各教区]

(次頁へ続く)

□常議員会

第68(定期)総会期第3回 2024年12月5日(木)

<主な決議事項>

1. 2024年度管区一般会計収支補正予算に関して、受取利息とNSKK神楽坂ビル事務管理費(新設)の収入増、聖公会センタービル維持管理費の支出減、諸委員会活動費(祈祷書改正委員会、金融資産運用管理チーム、セーフチャーチ・タスクチームの新設)の支出増、年金資金へのNSKK神楽坂ビル事務管理費の繰り出し、予備費で調整して収支のバランスをとる補正を承認。
2. 大齋克己献金国内伝道強化プロジェクトへの申請に関して、今年の申請はなく、大齋克己献金資金への積み増しを承認。
3. 管区事務所職員の定期昇給に関して、承認。
4. 常議員会への陪席者に関して、確認した。
5. CCEA(東アジア聖公会協議会)分担金に関して、要請に応じて現行の4,000ドルに5%を上乗せした金額(4,200ドル)を負担することを承認。

次回会議:2025年2月18日,5月13日,7月10日

(前頁より)

<関係諸団体会議・他>

- 1月23日(木)～24日(金) 外キ協全国協議会・全国集会〔大阪〕
- 27日(月) 日本キリスト教連合会常任委員会〔Web〕
- 27日(月) NCC 常議員会〔Web〕
- 31日(金) WCRP 新春学習会〔立正佼成会〕
- 2月24日(月)～25日(火) 部キ連袞山現地調査学習会・要請行動〔狭山・東京〕

□各教区

東京

- ・聖職按手式 2025年1月13日(月・休) 14時～ 東京教区聖アンデレ主教座聖堂 司式:主教 フランシスコ・ザビエル高橋宏幸 説教:司祭 ヨセフ太田信三 司祭按手志願者:執事 ウイリアムズ藤田 誠



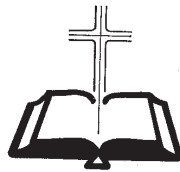
†逝去者 靈魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

司祭 サムエル 坪井克己(大阪・退) 2024年11月27日(水) 逝去 (92歳)

《人事》

東京

- 司祭 ロイス上田亜樹子 2024年11月30日付 浅草聖ヨハネ教会管理牧師の任を解く。
- 司祭 ヤコブ荻原 充 2024年11月30日付 浅草聖ヨハネ教会副牧師の任を解く。
- 2024年12月1日付 浅草聖ヨハネ教会牧師に任命する。



2024年教区会選出常置委員				
北海道	聖職	大町信也 (長)	永谷 亮	下澤 昌
	信徒	大友 宣	小澤暢子	吉谷かおる
東北	聖職	越山哲也	渡部 拓	八木正言
	信徒	畠山秀文	赤坂有司 (長)	坂水かよ
北関東	聖職	斎藤 徹	矢萩栄司 (長)	鈴木伸明
	信徒	養田 博	廣瀬 清	石森眞子
*東京	聖職	上田亜樹子	卓 志雄	中川英樹 (長)
	信徒	植松 功	黒澤圭子	後藤 務
横浜	聖職	片山 謙	宇津山武志 (長)	小林祐二
	信徒	中林三平	岩井讓治	村井恵子
中部	聖職	大和孝明	江夏一彰 (長)	丁 胤植
	信徒	河西恵子	牛島達夫	池住 圭
京都	聖職	大岡左代子 (長)	小林宏治	藤原健久
	信徒	中川典子	安屋敷三知	谷口 寛
大阪	聖職	千松清美	義平雅夫	柳 時京 (長)
	信徒	寒河江研司	加納佳世子	辻 彩乃
神戸	聖職	芳我秀一 (長)	林 和広	竹内 宗
	信徒	大東正人	弘井宗子	末永 忍
九州	聖職	牛島幹夫 (長)	島 優子	李 浩平
	信徒	東 美香子	濱生牧恵	細川眞二
沖縄	聖職	金 汀洙	咸 允淑	岩佐直人 (長)
	信徒	並里 厚	知花なおみ	宮城正子

\*東京教区は常置委員を毎年3月の教区会で選出



◆ご要望にこたえて配本を早め、10月中旬配本!

## 聖公会手帳 2025

※写真はイメージです

- 各教区事務所・牧養所協力のもとに  
\*日本聖公会 教区事務所責任編集
- 2025年度教会暦日課表を完全収録
- 前年に続き「新刊」のページを大幅増補。宣教協議会からの呼びかけも
- 全国の教会・伝道所、関係団体発信情報を網羅

大型判 (A5判) 2,200円 (税込)  
ポケット判 1,200円 (税込)

お求めはバイブルハウス南青山店  
(☎03-3567-1995 HP: <https://www.biblehouse.jp/>)、  
またはお近くの書店まで

日本聖公会管区事務所  
2024年9月

[B5判]

## 『日本聖公会要覧』

### 2023-2024

2024年12月25日発行  
頒価1,000円 (税込)

お求めはバイブルハウス南青山  
☎ 03-3567-1995 URL: <https://biblehouse.jp/>  
または、お近くのキリスト教書店にお願いいたします。

## 管区の財政の今、これから

— 新たな「NSKK神楽坂」の出発、など —

管区事務所財政主事 セシリア 鈴木裕子

2024年5月28日、日本聖公会第68(定期)総会の開会礼拝が東京教区聖アンデレ主教座聖堂で開催されました。いつもの入堂聖歌も、見慣れたはずの風景も、新鮮で清々しく嬉しく感じました。

ほぼ3年にわたるコロナ禍での制約がとりあえず建前として解除されて1年と5か月がたち、管区の財政は、ほぼ元に戻った感はありますが、各教区、各教会からは以前にもまして「献金が減少・・・」「信徒数が減少・・・」と厳しい事情が聞こえてきます。「こんな時管区財政担当者としてはどうすればいいの?」と自問自答を繰り返しながら、各方面からの助言をいただき、担当の委員さんとの意見交換をしながら、今期もスタート致しました。まずは現状の報告からさせていただきます。

### 【管区財政の今】

#### 教区分担金について

コロナ禍の影響下(2020～2022)でのリモート会議で会議費が大幅に減少したため、収支差額を「コロナ禍対策特別協力金」として各教区に還元してきましたが、2023年より上記特別協力金(教区分担金1割)の還付を終了しました。

但し、教区或いは個々の教会の財政事情は依然として(より一層)、信徒減、献金減で厳しくなっている現状に鑑み、教区分担金Iの見直しについて引き続き検討し対応に踏み出します。

#### NSKK神楽坂について

聖公会センター検討チームが中心となり、2022年から改修工事に着手してきたNSKK神楽坂(旧管区事務所・聖公会センター)は、2024年2月末に完成して施工業者からの引渡しを受け、3月1日に武藤謙一前首座主教の司式により「建物祝

福式」を行ない、3月からテナントと入居者の募集を開始しました。8月には6部屋の住宅と3つの事務所すべての契約が完了し、賃貸管理は王子不動産(株)に委託してスタートしています。

これにより管区としてはNSKK渋谷、NSKK神楽坂、セント・ジョンズ・ハウス志木の3か所での収益事業となりました。NSKK神楽坂の収益については、総会での承認に基づき、聖公会年金資金への補填として大きく貢献できることになりました。

#### 教役者給与調整支援資金について

宣教協働区体制に向けた教区間協働での最大の難問となる教役者給与については、前総会において提案され承認された「管区標準給与」を参考にいただき各教区での検討をすすめておられると思います。ただし、教区間協働において、教役者給与算定の指針として「管区標準給与」を採用していただくには、各教区の諸事情もあります。2023年の決算では、一般会計の収支差額(余剰)は、常議員会の決議によって教役者給与調整支援資金に繰り入れることとし、2025年予算としては500万円(従来400万円)を計上していますが、その処理を含めて財政担当者との丁寧な協議の継続が喫緊の課題となっています。

#### 金融資産運用管理チーム

金融資産運用管理規程が最終的にまとまり、管区全体の資産の運用と管理にあたるためのチームを発足し活動を開始しています。

証券会社、金融機関には「安全性の確保」を前提として、事前に「金融資産運用管理規程」を提示した上で提案を受け、内容、格付け会社、運用期間等をチームで精査した上で、主事会議、常議員会への報告と承認を得る方式をとっています。

一般会計及び特別会計（建築金融資金、ナザレ資金、年金資金、ウィリアムズ主教記念基金）で国債などの購入・運用を開始しました。

### 聖公会年金について

退職年金受給者数のピークは越えつつあり、加えて2023年以降、年金支給額の平均15%減額により支給額の約半分を拠出金で賄うことができるようになりました。

また2024年4月以降、聖公会センター改修によるテナントビル「NSKK神楽坂」の入居も順調に推移して賃料収入による補填、また2024年度は職員の新規加入による加入者増もあり、年金資金への貢献が見込まれています。

### ナザレの家（ナザレ委員会）

財政面としては、昨年末に残余財産寄附の受け入れ手続き、登記等が完了し、本年2024年からナザレ委員会が動き始めています。課題は譲り受けた資産の運用と建物の維持管理、そしてこれからの活用方法となります。

資産の一部早期償還はありましたが受け入れ時とほぼ変わらず、収入は受取利息と諸献金、ボランティアでスタートした聖餐式で用いるウエハースの代金です。

一方支出は固定的な修女様方の入居施設費用、管理の為の人件費のほかは、ほとんどが建物の維持管理費（年間約7～800万円）となっています。

現時点での収支は安全圏で推移していますが、建物としては大規模修繕の時期となるため、

不動産価値を維持するには、喫緊の現状精査と長期修繕計画が必要となります。ただし、それらは時間も費用もかかる作業であるため、ナザレ修女会が設立以来根幹に据え、積み重ねてこられた「祈りと奉仕の心」を命題として、ナザレの家のこれからの方向性を、検討していくことが求められています。

### 【管区財政のこれから】

昨年11月「2023年日本聖公会宣教協議会」（清里）より出された『2023年日本聖公会宣教協議会からの呼びかけ』を機に、各教区で宣教についての協議会や取り組みがなされています。

管区のこれからの大きなテーマは「宣教協働」に向けての適正なギアチェンジではないでしょうか？各教区、各教会で、そして信徒同士で、財政の現状をもう一度みなおして、【加速できること】或いは【減速したほうがいいこと】また【現状がいいこと】など是非議論していただきたいと思います。そして管区にFEEDBACKしていただきたいと考えます。

「管区としてできること」「管区としてやるべきこと」「管区としてやってほしいこと」

各種のアンテナを用意して【これから】に備えたいと考えています。

ー すべてのものは 主の賜物、

私たちは主から受けて 主に献げたのです ー

## 『日本聖公会資料保管に関する東西合同協議会』を開催

### ー 初めての試み：東西合同会議をオンラインで ー

管区文書保管委員長 司祭 ヨセフ 太田信三

■日本聖公会資料保管に関する協議会について  
2024年11月15日、管区文書保管委員会主催「日本聖公会資料保管に関する東西合同協議会」を開催しました。かつて「資料保管に関する

協議会」は一年に一度、東日本、西日本に分かれて対面で行なわれていました。各所から文書保管に関わる方々が集まり、資料を持ち寄り、意見交換、課題が共有される大切な場でした。毎

回会場を変え、会場の教区事務所／教務所や関連施設や学校などの文書保管場所の見学会も行なわれ、大変有意義で豊かな交わりがありました。しかしコロナ禍の影響により、本協議会は2019年を最後に開催されていませんでした。

### ■日本聖公会資料保管に関する東西合同協議会の経緯と目的

そもそも、管区文書保管委員会自体がコロナ禍はじめ様々な要因により、2020年1月以来、委員会が開催されておらず、継続した活動は、一人の委員による管区事務所書庫の整理のみでした。四年の時を経て、このたびの管区総会で委員の入れ替えもあり、再始動することとなりました。とはいえ、四年間というのは大きな変化をもたらすもので、かつて関わってくださっていた方々が逝去されたり、委員会への参加が困難になられたりと、ことにそれらの人々に頼っていた取り組みの再開は大変困難となっています。さらには管区事務所の引越しもあり、管区の文書保管への取り組みは、再スタートというよりも新しいスタートが求められているように感じています。それでも、まるで暗い洞窟の先に小さな光が差し込むのを発見するが如く、少しずつ手がかりを見つけ、地道に活動を再開し始めました。そのような中、委員会としてはなるべく早く、今回の「日本聖公会資料保管に関する東西合同協議会」を開催することを決めました。かつて豊かな交わりがあった、全国の文書保管担当者との繋がりを再開し、四年を経た今の、それぞれの課題や成果などを分かち合い、これから新たに歩み始めたいと願ったからです。また、この会を通してそれぞれの現場の声をお聞きすることで、あらためて当委員会の役割を確認することも目的でした。

### ■各教区、関連学校・施設の皆さまのご協力により、いよいよ開催

四年という時は、各教区、関連学校・施設にも変化をもたらしています。担当者の変更、改装・改築等、各所の文書保管を取り巻く状況の変化もあり、開催には不安が伴いました。しかしそこは覚悟を決め、今回は新たに歩み始めるためのキックオフミーティングのつもりで、できるだけ多

くの方々にご参加いただきたいという願いから、初の試みではありましたが、東西合同でのオンライン開催としました。結果、多くの皆さまのご賛同、ご協力をいただき、当日は計14の教区、関連学校・施設より、文書保管に関わっておられる方々がオンライン上で集うことができました。事前にGoogleフォームを活用してアンケートにご協力いただき、回答を一覧にして共有しました。こちらのアンケートには、当日参加できない方々もご回答くださり、大変感謝でした。

### ■分かち合われたことの一部をご紹介します

以下【】内に、当日分かち合われたことの一部をご紹介します。(あくまでも一部です)

【保管、廃棄の基準が分からず、いつもどこかもやもやした気持ちが残る／担当者がいない。段ボールが積み上げられていく。逝去された司祭の資料が手付かずになっている／教区で制作したものについて、ISBNをつけることを勧める／各教区の記念誌ができれば、それぞれの土地の図書館、国会図書館に寄贈を。各地の公文書館で、自分の教会の資料を取り寄せてほしい／フロッピーディスクが大量に。今後デジタル化の方針が必要／保管箱を用い、とにかくナンバリングしている。写真もナンバリングし、学内で展示、閲覧可能にしている／半分以上が過去の宣教師の私物。選別の上処理している／一般に流通しているものは処分、教区・教会で作成した文書のみ保管／かつてはマンパワーに頼っていた。今は人材を見出せず／文書保管への理解が教区内で得られず、課題が先送りされ続けている／可視化や教区会報告の際に重要性を共有することを目指している／教会の資料保存を牧師のみに任せず、教区として責任を持つ体制作りが必要／月に二回、聖職候補生が目録作りをしている】

なお、神戸教区の取り組みは大変参考になるもので、多くの質問や賞賛が集中しました。神戸教区ではHP運営基準を作成し、その基準に則って1,600枚の写真をHPに掲載。また、各教会で保管してきた貴重な資料が破棄されてしまっているような現状があるため、各教会にアンケートを実施。自教会では管理できないという声を受

け、6教会から教区が委託され、管理することとなった、とのこと。人材に左右されることはあるものの、これらは各所での文書保管への大きなヒントとなりました。

他に、管区文書保管委員会で目録を取りまとめ、各所の保管状況を共有すること、そのために統一のフォーマットをオンライン上で共有、各所の保管文書の情報を共有できる仕組み作りを、という提案がありました。併せて、各所の利用規定や整理基準等もオンライン上で共有し、活用できるようにもできるのでは、というアイデアも出されました。

### ■新しい歩みに向けて

閉会后、ご参加いただいた方々からはポジ

ティブなアクションをいただきました。来年以降の協議会の持ち方については、基本はオンラインで開催、数年に一回は対面で開催することとなりました。今後、分かち合われた課題にどう取り組むか、また良い事例をどのように共有していくことができるか等、文書保管委員会の役割も整理してまいります。最後になりますが、先達への信仰の足跡、営みを知ることは、今、クリスチャンとして生きる上で不可欠なことです。そのために文書保管の役割が大切であることをご理解いただき、引き続き各所の文書保管への取り組み、当委員会へのご加禱、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

## 世界の聖公会の動向

- ☆聖公会 / ローマ・カトリック教会一致と宣教に関する委員会を  
米国で開催
- ☆聖公会とメソジストがカヴェナント（契約）を更新
- ☆宗教指導者たちが「再生と刷新」を呼びかける

### 管区事務所渉外主事 司祭 ポール・トルハースト

#### ○ 聖公会 / ローマ・カトリック教会一致と 宣教に関する委員会を米国で開催

聖公会/ローマ・カトリック教会・一致と宣教に関する国際委員会(IARCCUM)の運営委員会が9月29日から10月2日まで米国ワシントンDCで開催された。ジョージタウン大学が主催し、米国聖公会で最大規模の神学校であるヴァージニア神学校との共催で行なわれた。

委員会では、IARCCUMの将来について考えるとともに、IARCCUMの起源と具体的なエキュメニカル上の課題について検討し、聖公会とカトリックの間の交わりを深める活動に貢献するための新たな方法を模索することに時間を費やした。委員会はまた、両教会の主教のための資料として

新たな文書の作成に着手することを視野に入れながら、IARCCUMのこれまでで最も重要な出版物である2007年の文書『一致と宣教において共に成長する (Growing Together in Unity and Mission)』について検討した。

アングリカン・コミュニオン事務局の信仰の一致における秩序に関する担当ディレクターであるクリストファー・ウェルズ博士は、この会合について次のように語った。「IARCCUMの活動をここで継続することは、喜ばしいことです。今もなお深淵なテキストである『一致と宣教において共に成長する』をアップデートすることに気持ちが高ぶっています。私たちは、私たちの共同体がどのように変化しているのか、また私たちの教派に

由来するアイデンティティを形成する一体性とエキュメニカルな公約の特徴について、私たちが何を学んでいるのか、さらに付け加えたいと思っています。聖公会にとって、ローマ・カトリック教会やその他キリスト教派の友人なしには一致も宣教もあり得ません。現状への理解を深めるにつれ、聖公会内部に横たわる相違もまた違って見えてくることになるでしょう。」

### ○ 聖公会とメソジストがカヴェナント（契約）を更新

英国聖公会と英国メソジスト教会の指導者たちは最近、両教会の歴史的な「契約」締結21周年を祝うにあたり、「完全にひとつ」になるための努力への挑戦を表明し、両教会が過去21年間に達成された進歩を超えて、より大きな一致を目指すように働きかけをおこなった。

2003年11月1日にエリザベス女王の前で署名された聖公会・メソジスト契約は、1790年代に分離した両教会の共通点を認識し、一致への障壁を取り除くことを約束するものであった。

契約は長年にわたり、多くの場所で緊密なパートナーシップへの道を開いてきた。メソジスト教会と聖公会の信徒が同じ屋根の下で礼拝し、共同のコミュニティ・プロジェクトを運営し、スタッフを共有するようになった。

メソジスト教会の議長であるヘレン・キャメロン師は、過去の分裂について「私たちの使命を消耗させ、私たちが宣べ伝える神の愛という福音を否定するスキャンダルであった」と述べた。

同師は、過去21年間にわたる地域および全国的な活動によって「垣根は取り払われた」と語った。しかし最近では団結のためのエネルギーや緊急性を喚起することが難しくなっていると警告した。

「イエスは、彼のおられるところで、私たちがイエスとひとつになるようにと祈られた。しかし“イエスのおられるところ”とは何処なのでしょう？

今日、私たちはイエスと共にいるということとは、十字架上のイエスと共にいることであると確認したいと思います。」

### ○ 宗教指導者たちが「再生と刷新」を呼びかける

先日のCOP29（国連気候変動会議）において、宗教指導者たちが神によって造られた被造物を大切にすることを呼びかけ、気候変動に対する責任が微小であるにもかかわらず、その最悪の影響に直面している小さくされた人々を保護する必要性を強調した。

アングリカン・コミュニオン環境ネットワークを主宰するパナマのフリオ・マレー大主教は次のとおり呼びかけた。「神は、土地、水、その他の資源という神の賜物を大切にしよう、私たちに呼びかけておられます。私たちは、気候変動が一刻と迫っていることを知っています。気候変動がもたらす最悪の結果を防ぐためには、化石燃料の採掘と生産を止める必要があります。これが今、教会が化石燃料不拡散条約を支持し求めている理由です。」

COPは、締約国が気候変動と闘う意欲を高め、世界の気温上昇を1.5°Cに抑える道筋に合意し、気候変動の影響に適応するために協力し、気候変動による損失や損害を補償するための場であり、プロセスである。COPに参加する宗教団体の代表もその活動の一角を担い、毎年、信仰者の立場から生まれた経験と視野を交渉の場に持ち込んでいる。

ACTアライアンスの気候正義プログラム・マネージャーであるジュリアス・ムバティア氏は次のとおり述べた。「私は、COP29がすべての締約国に対し、強力で大がかりな国家気候変動計画を提出するよう、強いメッセージを送ることを願っています。これらの計画は、今後数年間における緩和、適応、損失と損害への取り組みの指針となるはずです。」

ルーテル世界連盟代表団のメンバーであるロマリオ・ドーマン氏は「聖書には、神は地球を守るために人類を地球上に置かれたと教えられており、搾取者としてではなく管理者として、私たち人類が集団的役割を担うことを強調しています。ここで意味される管理者としての役割とは、被造物を保護し大切にすることを義務のことなのです。」と語った。



## 「青山霊園」の墓地清掃と墓参の祈り

管区事務所

11月22日(金)、毎年恒例の青山霊園外国人宣教師墓地清掃と墓参の祈りを実施いたしました。夏の暑さがいつまでも続くかのように思われていた今年の10月。墓地清掃と墓参の祈りをいつもより遅い時期に予定したことに安堵しておりました。その気温も11月に入ると一転し、寒さのなかでの作業を覚悟することとなりました。とくに実施日の前日・前々日などは雨が降っていたこともあり、体感温度はかなり下がっていました。ところが、当日の22日は快晴。風もなく、念のために用意していた薄手の防寒着も必要ない心地よい涼しさを感じる気温という絶好の清掃・墓参日和でした。



作業の様子

実施時期がいつもより遅かったためか、例年よりも草木たちが更に立派に生い茂っていましたが、矢萩総主事をはじめ総勢8名が文明の利器の力も借りながら手際よく作業したことにより、2時間ほどで清掃は終了。綺麗になったお墓も、できあがったゴミ袋の山も壮観でした。お墓を綺麗にした後は、矢萩総主事司式のもと、皆で墓参の祈りをおささげいたしました。



青山霊園外国人宣教師墓参の祈りを終えて



墓石に花束を

今年は立教学院150周年にあたり、その記念として映画『道のただなか』が制作されました。今を生きる若者が、あることをきっかけに立教創立者ウィリアムズ主教の日本での足跡を辿る青春ロードムービーです(立教学院創立150周年記念サイトでご覧いただけます)。その映画を観た私は、そこで語られていたウィリアムズ主教のお人柄やお働きに触れたことを機に、他の宣教師の方々についても今更ながら調べました。それによって今回、これまで以上にかつての宣教師の方々に想いを馳せつつ、清掃・お祈りをする事ができました。豊かな恵みを感じる時を持ったことに、先人たちのお働きに、そして主に、感謝いたします。

管区事務所・鳥居雅志

### 原発のない世界を求める



## Zoom Caféのご案内

世界の声に耳を傾けよう

＜神が創られた自然・世界・社会＞



2011年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故は、多くの住民の生活や生業を奪い、長年住み慣れた土地やかけがえのない人間関係さえも破壊してしまいました。この出来事によって、私たちは「核といのちは共存できない」ことを深く心に刻むことになりました。

私たちは「原発のない世界を求めて折り行動する者」として用いられることを望んでいます。2ヶ月に1度（偶数月第3土曜日）のZoom Caféは、そのために学び、自由に語り合い、分かちあう場所です。参加申込、参加費は不要です。

お好きな飲み物などを用意して、Zoomリンクからお気軽にご参加ください！

2024年12月21日 14:00~15:30

### 読書と茶っと

## 「脱原発の視点で聖書を読む」＜後編＞

日本福音ルーテル教会 社会委員会 編

脱原発の問題を信仰の問題として、また倫理の問題として考えてゆくためのテキストとして、また、キリスト者が聖書を通して脱原発を学ぶ資料として大変有効な冊子です。

教会は、なぜ脱原発を訴えるのか？ 日本福音ルーテル教会社会委員会編のブックレットと一緒に読んで、疑問や感想を出し合いながら考えてみませんか。12月は後編の6章から10章までを読み進めていきます。ブックレットは皆さんの教会に1冊ずつ配布されています。Zoom Caféで画面共有をしながら読み進めますので、ブックレットがなくても参加できますが、お手元にご希望される方には事前にお送りします。

日本聖公会管区事務所までお知らせください。(general-sec.po@nsskk.org 矢萩)

Zoomリンク：<https://onl.bz/UA3pSej>

ID：820 1414 1653 パスコード：822900

原発問題プロジェクト web サイト：

<https://www.nsskk.org/province/no-nuke-project/>



主催：日本聖公会正義と平和委員会 原発問題プロジェクト

お問い合わせ：090-1983-7244 (池住 圭)



## そうだ 主に かえろう

### 休息と沈黙のリトリート



温かい食事と沈黙とで癒される 穏やかな2泊3日へのお誘い

場所：ナザレの家（元ナザレ修道院 三鷹市牟礼4丁目）

受付開始：2025年2月23日(日)15時・解散：2月25日(火)16時半

定員：20名 参加費：10,000円 部分参加はできません。

申込締切：2025年2月10日(月) 定員になり次第締め切ります。

申込・問い合わせ先：東京教区事務所 <mission-sec.tko@nsskk.org>

主催：日本聖公会 ナザレ委員会

共催：東京教区 信仰と生活委員会 共育プロジェクト

管区事務所  
〒162-0805  
東京都新宿区矢来町65番  
電話 (03)5228-3171  
FAX (03)5228-3175

日本聖公会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE  
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku  
Tokyo 162-0805, Japan  
Tel. 81-3-5228-3171  
Fax. 81-3-5228-3175

カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師の辞任について

カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師が、ジョン・スマイスによる少年や若者に対する度重なる重大な虐待事件の調査報告を受け、個人としてまた組織として十分な調査や対応を行なってこなかったことを認めて辞任を発表したとの知らせがありました。

ジョン・スマイスによるイギリスやジンバブエ、南アフリカでの青少年への度重なる虐待の被害者や生存者の方々の受けた傷や今もなお続く苦しみは想像を絶するものです。被害者の方々に、主の深い癒しが与えられますように心よりお祈りいたします。

そして、英国聖公会における様々な働きに対する信頼の再構築のためにもお祈りいたします。日本聖公会の中の教会にもある構造的な力関係などから生じるハラスメント体質を乗り越えていくために、私たち一人ひとりがこの出来事を自分たちの課題として受け止め、世界のアングリカン・コミュニオンに繋がる教会と共に、日本聖公会もより一層セーフチャーチの構築に努力をし、すべての人々のいのちの尊厳を大切にするために、謙虚さと勇気と知恵を祈り求めながら歩むことに尽力してまいります。

2024年11月21日

日本聖公会首座主教 主教ダビデ上原榮正

日本聖公会主教会

# Merry Christmas and a Happy New Year

## タビテ上原栄正

日本聖公会首座主教

エダテイオ 鈴木 一

広報主事

エッサイ 矢萩 新一

管区事務所総主事

マンチ 金子登美江

総務主事

セリア Hiroko Suzuki

財政主事

ステパノ 卓 志雄

宣教主事

Paul Tachost

渉外主事



水谷 牧子

管区事務所職員

ヨシユア

西島 厚

管区事務所職員 (ナザレの家)

及川 史子

管区事務所職員

Apphia

水野 直子

管区事務所職員 (ナザレの家)

鳥居 雅志

管区事務所職員

セリア 鈴木 セリア  
Ceilia S.S.

管区事務所職員

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。

comm-sec.po@nskkn.org 広報主事(鈴木 一)宛て